大野市文化活動の環境づくり評価委員会

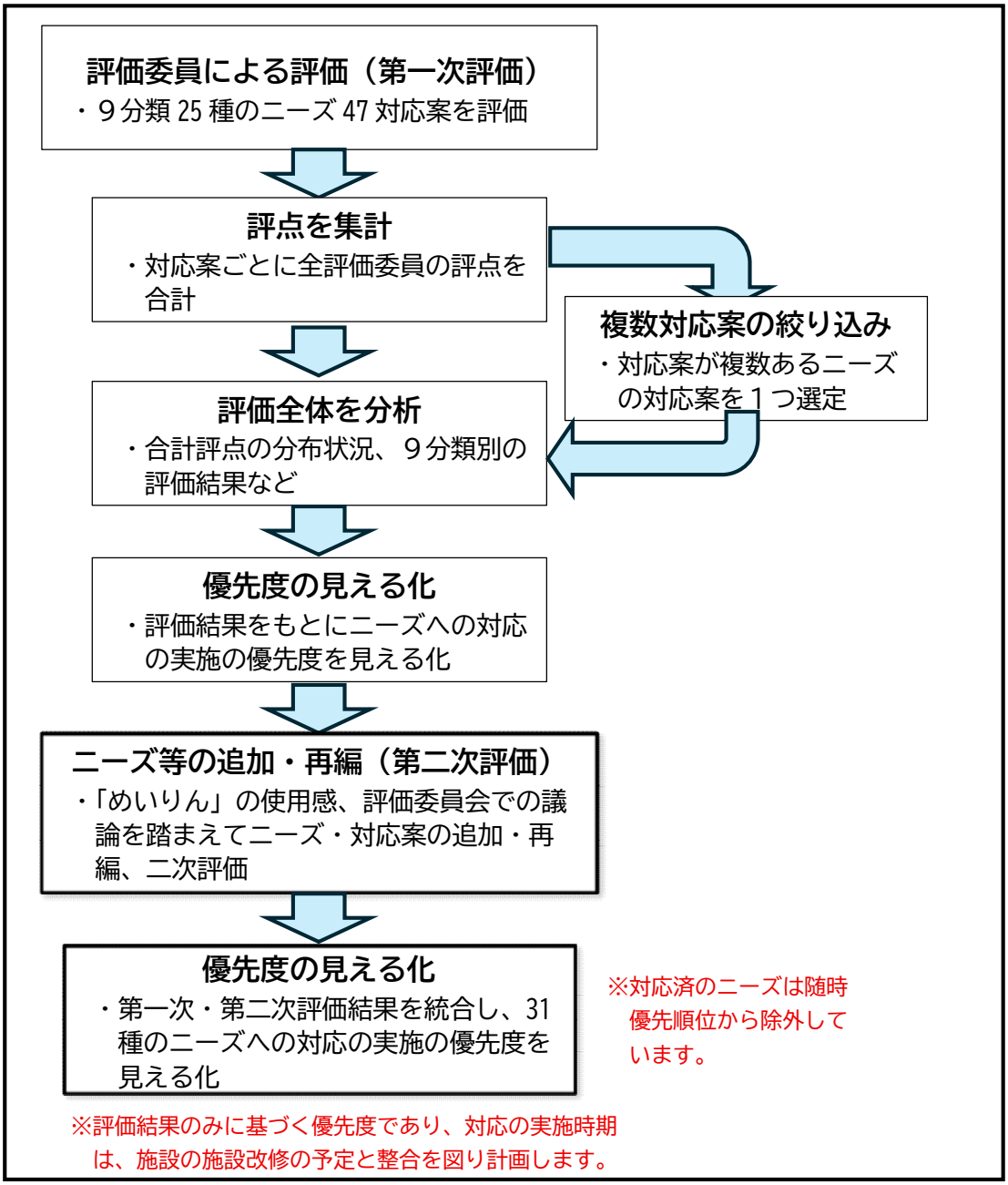
ニーズへの対応の評価結果（第一次・第二次評価結果の統合）

（１）評価の流れ（ニーズ・対応案の追加・再編）

・第一次の評価実施後に評価委員会での協議結果を踏まえ、ニーズ・対応案の追加・再編を行い、第一次評価と同様の方法で、追加・再編に関係する部分について、委員の皆様に第二次の評価を実施していただきました。

・第一次評価と第二次評価を統合し、31 種のニーズへの対応について、実施の優先度を見える化しました。

31 種のニーズへの対応の評価の流れ



（２）追加・再編後の対応案

・「めいりん」の使用感を踏まえたニーズの追加、評価委員会での議論を踏まえた対応案の再編を行った結果、ニーズと対応案は下表の通りとなります。

【ニーズの内容と対応の一覧】　　※朱書きは第二次評価で追加・再編となったニーズ・対応案

分類	番号（種）	内容	ニーズ説明等（関係団体からの要望）	対応案
１舞台	1	舞台の拡張	舞台サイズが狭いという意見あり。めいりん講堂のステージは幅１４m奥行き７．６m。文化会館ステージは幅１３．５m奥行き１０m	ステージを２m前に広げる
	2	舞台のきしみ、振動対策	・子供たちが踊っている後ろで演奏した際に、舞台が揺れたという意見あり。 ・バレエダンスで床が揺れると、足に負担がかかるため、演目が制限されるという意見あり。	まずは後方グレーチングから音が出ないような対応を行う。たわみについては調査試験を実施し、最適な方法を検討する
	3	緞帳の更新	めいりんの現行の幕（左右開き）が学校仕様。文化会館のような重厚な緞帳を求める声あり。	昇降する緞帳を設置する
	4	バトン（吊りもの用）の改良	保育園発表、演劇等で舞台演出用の釣り物ができるよう、バトンを増設するとよいと意見あり。	昇降バトンの本数を増やす
	5	目隠し幕の設置	下手袖、上手袖が客席から見えないような目隠し幕が欲しいという意見あり。	現行の前幕レールに沿わせて袖部分までの幕（電動）を増設 （６-２への対応と共通）
	6	舞台の安全対策	舞台と客席の境が分かりにくく危ないと意見あり	舞台の端に白など明るい色のラインを入れる ※目立つラインだと演者の妨げになる可能性あり
２音響	1	音響設備の充実	①音響設備が十分ではないという意見あり。 ②現状の反響板は効果がないと意見あり。 ★上面反響板の安全装置は解除可能な状態であり、上面反響板は問題なく稼働することを確認済み ③ステージ上の演者、講演者用の音声モニターが不十分。 ④ロビーへのアナウンス音声装置がない。	音響環境全体の調査を行い、反響板、配線を含め必要な工事は調査に基づき施設改修時に対応する。 個々の音響設備の更新時には、調査に基づき設備を更新する。 【運用面で対応】 大型・高出力の機材が必要な場合は利用者が持ち込む運用とする。（大野市文化事業補助金の対象となる場合有り）
	2	音響環境の改善	①音漏れで講堂と体育館の双方の利用に影響が出ることから、同時利用ができないという意見あり。 ②外部と講堂との音の遮音対策をとるとよいという意見あり。	音響環境・防音対策全体の調査を行い、施設改修時に調査に基づく最適な対策を実施する。 【運用面で対応】 体育館及び講堂の同時利用を制限するよう予約段階で調整する（①への対応）

分類	番号（種）	内容	ニーズ説明等（関係団体からの要望）	対応案
			③天井からの雨音が講堂に響くので、有料のプロコンサートなどはできない（有料で鑑賞するお客に失礼）という意見あり。 ④演奏中にホール内を観客が移動するときの歩行音（スリッパ音）が邪魔になるという意見あり。	講堂内に吸音材を貼るなどの対応（②への対応） 屋根の改修による雨音の軽減（③への対応） イベント時に臨時的に部分カーペットを設置する（令和８年度から対応）（④への対応） （評価委員会の議論を踏まえ、共通の対応案が想定される８-１～８-３、９-１を統合）
３照明	1	現行照明の調整	文化会館に比べステージの光量が足りないという意見あり。	イベント毎に現行照明の角度等を調整し、光量を確保する。
	2	照明設備の充実	文化会館に比べステージの光量が足りないという意見あり。	ステージライトを増設する
	3	演出照明の充実	ステージ背景に光の模様を映し出す演出照明が欲しいという意見あり。	≪対応済≫ ムービングライトを１台設置
４映像	1	プロジェクターの設置（２階）	２階操作室に光量の高いプロジェクターを設置することで、舞台演出に活用できるのではと意見あり。	ステージ上部に短焦点のプロジェクターを設置する
５客席・椅子	1	観客座席数の増設	常設の観客座席数が３００席であり、大型イベントで座席数が足りないのではと意見あり。	≪対応済≫ ※めいりんで大型イベントを開催する場合、別室の椅子を会場に追加し、４００席以上でイベントを開催した実績あり。
	2	観客座席の改良	現行の椅子は長時間の鑑賞に向いていないと意見あり。	座り心地が良く、簡易的なひじ掛けのある椅子を３００席購入する 『参考商品（ＦＣ－３１１）』
	3	観客座席位置の改善	現状の椅子は幅が狭く、隣の方と接触するという意見あり。	隣席との接触を防ぐため座席間隔を確保する。 ※座席数の増設・改良の兼ね合いによる
	4	観客座席の段差化	現施設の椅子の配置は、２列ずつ同じ高さで配置されている。後ろの方が見にくいので、座席が段状に配置されるとよい意見あり。	前列と左右の位置をずらした座席配置にする ※座席数の増設・改良の兼ね合いによる
	5	フットライトの設置	足元にスモールランプがあるとよいと意見あり	段差部分にフットライトを設置する 『参考商品　OL291371R1』

分類	番号（種）	内容	ニーズ説明等（関係団体からの要望）	対応案	
6控室・バックヤード	1	控室の充実	大型イベントの際に、控室が足りないのではという意見あり。	目隠し用のカーテンを貸出し、着替えができる控室を確保する。	
	2	舞台袖の設置	舞台袖の出待ちスペースがないという意見あり。	≪１－５と重複≫ 現行の前幕レールに沿わせて袖部分までの幕（電動）を増設	
	3	バックヤードの充実	バックヤードが足りないのではという意見あり。 ※ステージ上手下手への移動は、ニーズ調査時に、ステージ裏に通路があるので問題はないという意見が出された	バックヤードを整理することでスペースを確保する。	
	4	防音の充実	前室となる音楽室（音楽準備室）でチューニングが可能なように防音対策をとるとよいという意見あり	別教室で音出しできるよう調整する	
	5	控室の防犯対策	控室が２階の場合、ステージまでが遠く防犯面の心配があると意見あり	運用面で控室を施錠するとともに、音楽室・音楽準備室、体育館、体育館横のミーティングルームなどステージに近い場所を目隠しして利用できるようにする	
7練習環境	1	音出し可能なスペースの充実	吹奏楽の練習は大音量のため、施設利用が難しい。防音対策により練習場所の確保をお願いしたい意見あり。（具体的にランチルームを防音室として改修できないかと声あり）	ステージや音楽室などを練習場所として活用する	
	2	鏡の設置	鏡を設置してほしい（踊りを確認する用）の意見あり	文化会館管理の既存の姿見を移管する	
	3	机･椅子の設置	和室に机・椅子を設置して欲しいという意見あり	利用する際に一時的に他の部屋から移動することで、必要数を確保する	
	4	利用時間の制限	講堂は平日昼の利用（準備含む）ができない	学校と調整する	
8防音	1	音漏れ・防音対策	音漏れで講堂と体育館の双方の利用に影響が出ることから、同時利用ができないという意見あり。	体育館及び講堂の同時利用を制限するよう予約段階で調整する	（評価委員会の議論を踏まえ、初動対応として音響調査の実施が共通する８-１～８-３、９-1を２-２として統合）
	2	講堂から外部への音漏れ対策	外部と講堂との音の遮音対策をとるとよい	講堂内側に吸音材を貼るなどの対応	
	3	雨音の対策	天井からの雨音が講堂に響くので、有料のプロコンサートなどはできない（有料で鑑賞するお客に失礼）という意見あり。	屋根の改修による雨音の軽減	

分類	番号（種）	内容	ニーズ説明等（関係団体からの要望）	対応案	
９その他	1	ホール歩行時の騒音低減対策	演奏中に観客が移動する時の歩行音（スリッパ音）が邪魔になるという意見あり	イベント時に臨時的に部分カーペットを設置する（貸出可能）	
	2	北側職員入口の改修	入口が駐車場から離れているので、北側職員入口を改修して、利用者玄関として使うのはどうかと意見あり	５０人の下駄箱を備えた入口を、駐車場側に拡張し、２００人規模の利用者玄関に改修する。	

※第１回評価委員会の資料の「９.その他」に掲載されていた　「３　学校の協力を得て、音楽室を別室へ移動」は、学校に確認した結果、対応不可のため、評価対象から除外します。

（３）優先度の見える化

・31 種のニーズへの対応について評点が大きい順に並べた結果は次のページ以降に掲載の図の通りです。

・最も評価が高いのは、音響環境の改善ニーズに対して「音響環境・防音対策全体の調査を行い、施設改修時に設計に基づく最適な対策を実施する。音漏れや歩行音は運用面で対応する」の 279 点で２位以下に８点差をつけています。視点別の評点の内訳を見ると重要度が特に高い評価となっています。

・３位は、「音響環境・防音対策全体の調査を行い、反響板、配線を含め必要な工事は設計に基づき施設改修時に対応する。個々の音響設備の設置（ロビーへのアナウンス設備等）や更新は、調査に基づき対応する。大型機材等は利用者による持ち込みで対応する」で、文化活動の受け皿施設として音響・防音の底上げが必要という評価になっています。

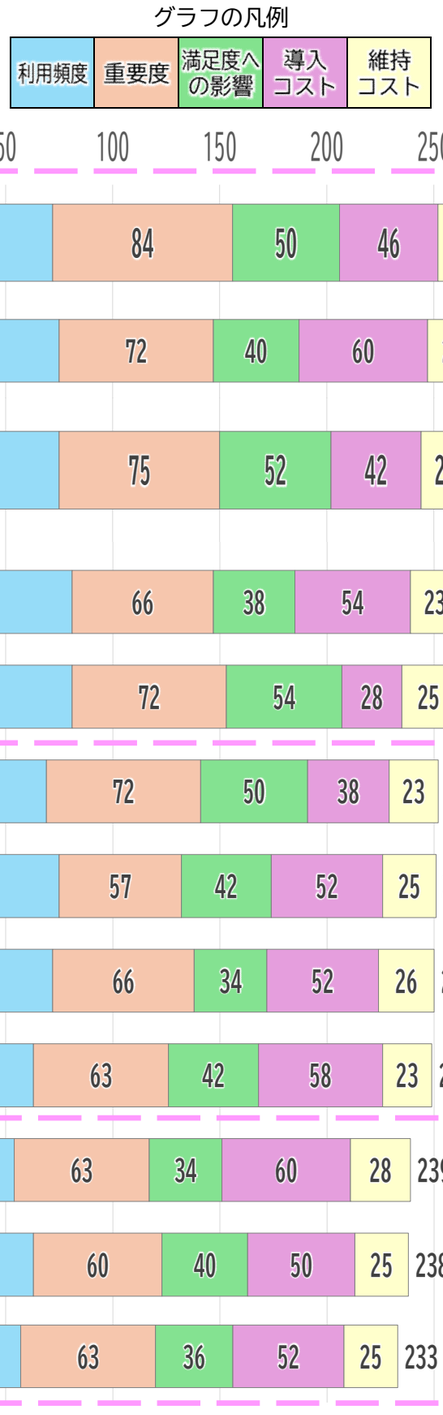
・６位の現行の前幕レールに沿わせて袖部分まで電動幕を増設する対応の評点は 252 点と、５位から８点差があります。

・６位以降で、順位が前後する対応との間に大きな点差が生じているのは、９位と 10 位の間、(10 点差)、12 位と 13 位の間、(10 点差)、17 位と 18 位の間（14 点差)、20 位と 21 位の間（43 点差）となります。
21 位から 24 位の４つは、得点率が５割を下回り、かつ、20 位以上との評点の差が著しく大きくなっています。

・これらの前後の点数の大きさを目安にグループ化すると、１位から５位が「非常に優先度が高いグループ（５つ)」、６位から９位が「かなり優先度が高いグループ（４つ)」、10 位から 12 位が「優先度が高いグループ（３つ)」、13 位から 17 位が「どちらかと言うと優先度が高いグループ（５つ)」、18 位から 20 位が「どちらかと言うと優先度が低いグループ（３つ)」、下位４つは「対応の必要性が低いグループ（４つ)」と位置付けることができます。

・対応を実施する時期は、評価に基づく優先度を踏まえつつ、施設改修の予定と整合を図り計画する必要があります。

31 種のニーズへの対応の評点による順位（視点別内訳）および対応時期（案）



順位		ニーズの内容	ニーズへの対応	対応時期 R８予定	対応時期 運用面で対応	対応時期 R９当初予算	対応時期 施設改修
1	2-2 8-1 8-2 8-3 9-1	音響環境の改善	音響環境・防音対策全体の調査を行い、施設改修時に設計に基づく最適な対策を実施する。音漏れや歩行音は運用面で対応する（8-1・8-2 音漏れ等対策、8-3 雨音対策、9-1 ホール歩行時の騒音提言対策にも対応）	（Ｒ８） ※イベント時に部分カーペットを設置	※講堂と体育館の同時利用を制限	※調査	※調査に基づく対応
2	6-4	防音の充実	別教室で音出しできるよう調整する				
3	2-1	音響設備の充実	音響環境・防音対策全体の調査を行い、反響板、配線を含め必要な工事は設計に基づき施設改修時に対応する。個々の音響設備の設置（ロビーへのアナウンス設備等）や更新は、調査に基づき対応する。大型機材等は利用者による持ち込みで対応する		※利用者が高出力機材を持ち込む	※調査	※調査に基づく対応
4	3-1	現行照明の調整	イベント毎に現行照明の角度等を調整し、光量を確保する。				
5	5-2	観客座席の改良	座り心地が良く、簡易的なひじ掛けのある椅子を３００席購入する『参考商品（ＦＣ－３１１）』			※関係課と要調整	
6	1-5 6-2	目隠し幕の設置、舞台袖の設置	現行の前幕レールに沿わせて袖部分までの幕（電動）を増設（6-2 舞台袖の設置にも対応）				
7	6-1	控室の充実	目隠し用のカーテンを貸出し、着替えができる控室を確保する。	（Ｒ８）			
8	5-4	観客座席の段差化	前列と左右の位置をずらした座席配置にする＝運用面で対応		※座席数の増設・改良の兼ね合いによる		
9	6-3	バックヤードの充実	※現状のままで対応可能（バックヤードを片付ける）				
10	7-1	音出し可能なスペースの充実	ステージや音楽室などを練習場所として活用する				
11	6-5	控室の防犯対策	運用面で控室を施錠するとともに、音楽室･音楽準備室、体育館、体育館横のミーティングルームなどステージに近い場所を目隠しして利用できるようにする				
12	1-2	舞台のきしみ、振動対策	まずは後方グレーチングから音が出ないような対応を行う。たわみについては調査試験を実施し、最適な方法を検討する				

※朱書きは第二次評価で追加・再編されたニーズ・対応

グラフの凡例

利用頻度 / 重要度 / 満足度への影響 / 導入コスト / 維持コスト

順位		ニーズの内容	ニーズへの対応	50	100	150	200	250		対応時期 R８予定	運用面で対応	R９当初予算	施設改修
13	3-2	照明設備の充実	ステージライトを増設する	66	60	42	36	19	223				➡ ※LED化を検討した場合
14	7-2	鏡の設置	文化会館管理の既存の姿見を移管する	51	48	40	54	27	220		➡		
15	7-4	利用時間（日中）の制限	学校と調整する	51	54	36	50	25	216		➡		
16	7-3	机・椅子の設置	利用する際に一時的に他の部屋から移動することで、必要数を確保する	54	48	32	54	27	215		➡		
17	5-5	フットライトの設置	段差部分にフットライトを設置する 『参考商品　OL291371R1』	63	54	32	38	20	207			➡	
18	1-6	舞台の安全対策	舞台の端に白など明るい色のラインを入れる	42	51	24	52	24	193			➡	
19	4-1	プロジェクターの設置（２階）	ステージ上部に短焦点のプロジェクターを設置する	51	51	36	36	18	192			➡	※関係課と要調整
20	5-3	観客座席位置の改善	隣席との接触を防ぐため座席間隔を確保する。	51	45	34	34	22	186		➡		※座席数の増設・改良の兼ね合いによる
21	1-1	舞台の拡張	ステージを２m前に広げる	45	36	24	16	22	143	使用感の確認や関係機関との調整など状況を見ながら今後要検討			
22	1-4	バトン（吊りもの用）の改良	昇降バトンの本数を増やす	33	30	20	28	19	130				
23	9-2	北側職員入口の改修	５０人の下駄箱を備えた入口を、駐車場側に拡張し、２００人規模の利用者玄関に改修する。	30	27	30	20	21	128				
24	1-3	緞帳の更新	昇降する緞帳を設置する	36	30	28	14	17	125				

どちらかと言うと優先度が高いグループ

どちらかと言うと優先度が低いグループ

満点に対する得点率が5割未満かつ、一段と評価が低い

対応の必要性が低いグループ

※朱書きは第二次評価で追加・再編されたニーズ・対応

■対応済または対応不可により評価対象外の対応

対応済	5-1	観客座席数の増設	大型イベントを開催する場合、別室の椅子を会場に追加し、４００席以上でイベントを開催した実績あり。
	3-3	演出照明の充実	ムービングライトを１台設置。
	評価委員会以外で文化活動の環境づくりとして対応済の事項		講堂で入口の光漏れを防ぐため、暗幕を設置。
			旧文化会館よりフルコンサートグランド（ピアノ用除湿器含む）を移設。
			譜面台等の備品の貸し出し。
対応不可	音楽室の充実		学校に確認の結果、他の授業の妨げになるので、部屋を移動させることはできない。